

## 東京湾フェリー

フェリーボートを訳すと渡し船になる。旅客や貨物を自動車ごと運搬する連絡船である。私の住む神戸から眼と鼻の先にあると淡路島へは、明石海峡大橋が出来るまではフェリーボートを利用していた。神戸から淡路島のルートと明石から淡路島の2ルートがあった。いずれも1時間以内の航行であったが運転しなくてもいいという開放感があった。船に乗り込めば車から降りて歩き回り、お茶を飲み食事をしたり本を読んだり、少々の時間でもリラックスできることは幸せであった。

東京湾フェリーを利用して神奈川県三浦半島の久里浜港から千葉県房総半島の金谷港へ渡った。もしこれを東京湾沿いに車で走ればおそらく3時間はかかる。フェリーの所要時間は僅か40分。私は「しらはま丸」(旅客定員580名、車両積載量：トラック36台、乗用車110台、バス16台)の船尾に立ったまま、航海の半分近くの距離まで追ってきたカモメと戯れていた。空は雲一つない晴天。一瞬ここが日本を忘れるほど美しい光景であった。

この航路には東京湾に入る様々な船を見ることができる。大型豪華客船、豪華クルーズ船、コンテナ船にタンカー、自動車運搬船、横須賀港に出入りする軍艦等。「♪～海は広いな 大きいな 行ってみたいだよその国～♪」このような素晴らしいロケーションに触れて自然に口ずさむ。この歌には男のロマンが感じられる私の好きな歌だ。フェリーのデッキには家族連れ、釣り人、若い女子グループ、トラック野郎等それぞれが思いをもって乗っている。



撮影 2015 年春

